

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
薩摩川内市	市比野地区	令和2年12月22日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	201.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	151.0ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	57.2ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	48.7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	3.5ha

## 2 対象地区の課題

- (1) 天水田のため、水の管理が難しい。
- (2) 高齢化による労働力の低下。
- (3) 農地の所有者が他所に居たり不明なため、貸借契約に支障が生じている。集約化し難い。
- (4) 鳥獣被害及び電柵の被害に悩まされている。
- (5) 一筆当たりの面積が小さく、農道も狭い。水路や畦畔の維持管理に手間がかかる。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

市比野地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者9経営体や認定新規就農者2経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することで対応していく。

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の集約化を図るため、農地の所有者は、原則農地を中間管理機構に貸付けていく。
大型機械が入れるような農道の整備や基盤整備を図る。
遊休農地の草払いを行うとともに、市等の事業を活用して有害鳥獣被害防止策を講ずる。また、捕獲により個体数を減らす。
水利組合や土地所有者等の協力により用排水路等の維持管理を行う。
収益性の高い品目への転換を検討する。